

2023年 3 月期 第 1 四半期 決算説明資料

2022年 7 月26日

NECキャピタルソリューション株式会社

\Orchestrating a brighter world

NECは、安全・安心・公平・効率という社会価値を創造し、
誰もが人間性を十分に発揮できる持続可能な社会の実現を目指します。

目次

1. 2023年3月期第1四半期 実績報告

- 1) 決算ハイライト
- 2) 事業環境
- 3) 業績概要
- 4) 事業別損益
- 5) 事業別の営業状況
- 6) リース事業の営業状況
- 7) ファイナンス事業の営業状況
- 8) インベストメント事業の状況
- 9) 営業資産残高の状況
- 10) 資金調達の状況
- 11) 与信関連費用

2. 2023年3月期 計画

- 1) 業績予想

1. 2023年3月期第1四半期 実績報告

1) 決算ハイライト

【事業環境】

- ・ 業界全体のリース取扱高は前年同期比1.9%減
- ・ 資金調達環境や倒産状況は引続き今後の動向に注視が必要

【営業実績】

- ・ リース事業は、前年のGIGAスクール案件の影響から契約実行高は前年同期比減少となったものの、成約高は前年同期比増加
- ・ ファイナンス事業は、企業融資を中心に営業貸付金が増加し、契約実行高・成約高ともに前年同期比増加

< リース事業 >	契約実行高： 11.3%減	成約高： 22.9%増
< ファイナンス事業 >	契約実行高： 8.2%増	成約高： 7.5%増

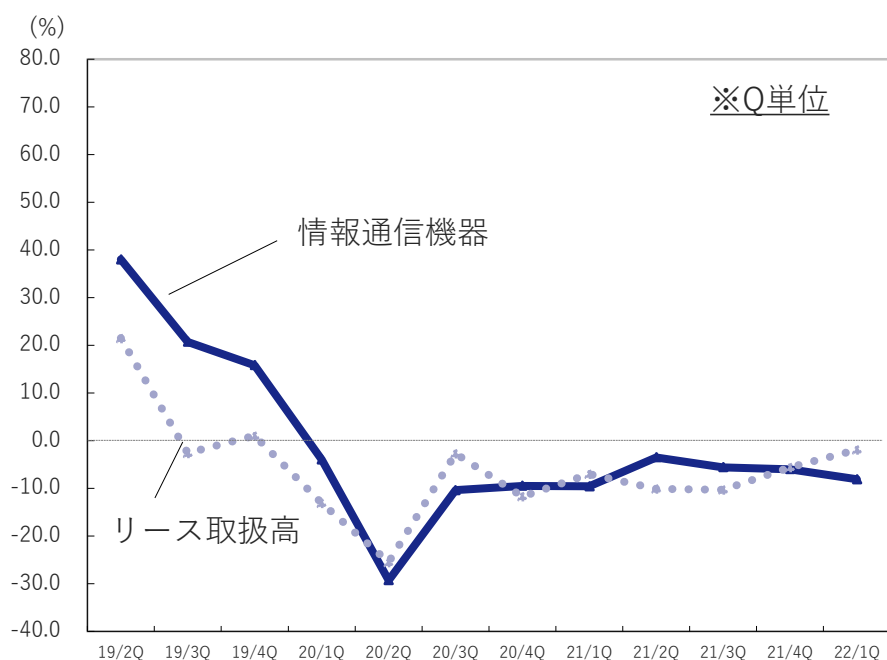
【経営成績】

- ・ インベストメント事業の販売用不動産の売却等により経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比大幅増加

2) 事業環境

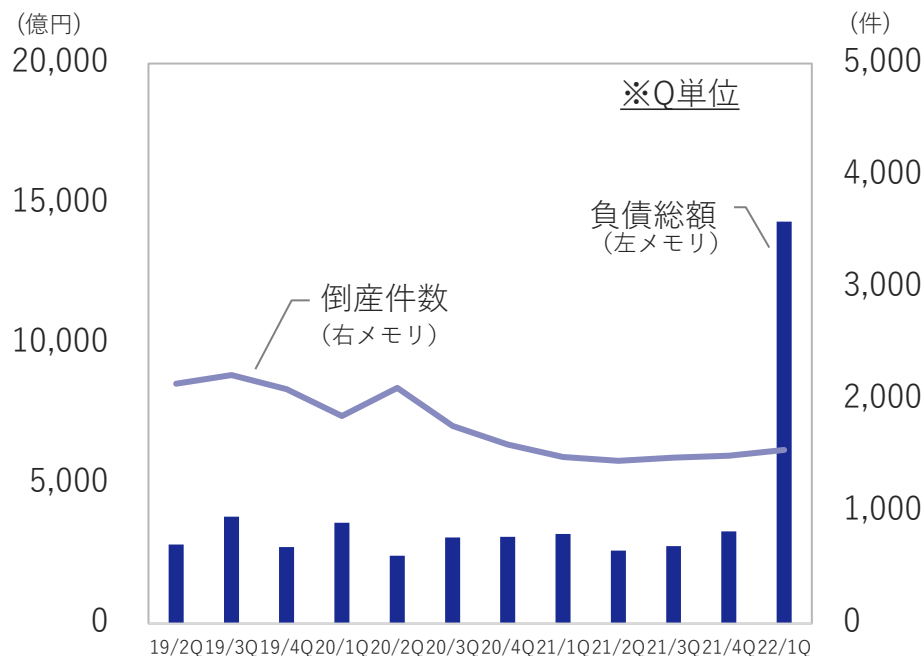
- ・ リース取扱高：業界全体は前年同期比1.9%減、当社主力の情報通信機器は前年同期比8.1%減
- ・ 倒産状況：22年1Qにおける倒産件数は増加、負債総額は大型倒産の影響で大幅増加

■ リース取扱高動向（四半期単位前年同期比推移）



（社団法人リース事業協会：リース統計より）

■ 倒産状況（負債総額/件数）



（帝国データバンクHP：倒産集計より）

3) 業績概要

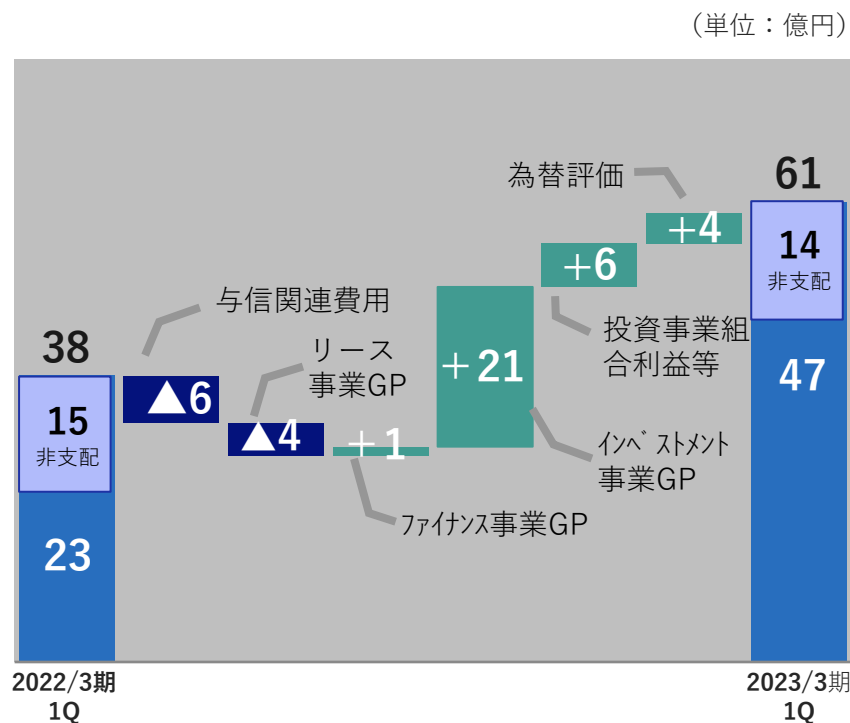
- ・売上高 : インベストメント事業の伸長等により前年同期比13.7%増
- ・経常利益 : インベストメント事業の販売用不動産の売却等により前年同期比大幅増益

■ 業績数値

(単位: 億円)

	2022/3期 1Q	2023/3期 1Q	前年同期比
売上高	629	715	+13.7%
営業利益	39	51	+30.5%
経常利益	38	61	+58.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	14	30	+106.3%
1株当たり四半期純利益	66円97銭	138円18銭	—
営業資産残高	9,217	9,274	+0.6%
純資産	1,178	1,275	+8.2%
自己資本	969	1,067	+10.1%
自己資本比率 (%)	9.5	10.5	+1.0

■ 経常利益 前年同期比主要増減要因



4) 事業別損益

■ 事業別損益

(単位：億円)

		2022/3期 1Q	2023/3期 1Q	前年同期比
リース 事業	売上高	574	544	▲5.2%
	売上総利益	45	41	▲9.8%
	営業利益	22	17	▲22.9%
ファイナンス 事業	売上高	11	12	+6.8%
	売上総利益	8	9	+13.9%
	営業利益	5	▲0	-
インベストメント 事業	売上高	38	153	+301.1%
	売上総利益	25	47	+83.4%
	営業利益	17	39	+134.3%
その他の 事業	売上高	5	6	+11.1%
	売上総利益	3	3	▲3.4%
	営業利益	0	0	-
計	売上高	629	715	+13.7%
	売上総利益	82	100	+21.7%
	営業利益	39	51	+30.5%

※短信セグメント情報のうち、「調整額」を除いて表示

<<リース事業>>

- ・営業利益は、前年同期に大型の賃貸資産売却があったこと等から売上総利益が減少し前年同期比減少

<<ファイナンス事業>>

- ・営業利益は、金利収入等の増加に伴い売上総利益が増加したものの与信関連費用の計上に伴い、前年同期比減少

<<インベストメント事業>>

- ・営業利益は、大型の販売用不動産の売却とファンドの配当収入等から売上総利益が増加し、前年同期比大幅増加

<<その他の事業>>

- ・新規事業の取り組み進展から営業利益は前年同期並みを確保

5) 事業別の営業状況

■ 事業別契約実行高

(単位：億円)

	2022/3期 1Q	2023/3期 1Q	前年同期比
リース事業	497	441	▲11.3%
賃貸事業	463	369	▲20.3%
割賦販売	34	72	+110.0%
ファイナンス事業	724	783	+8.2%
営業貸付金	469	540	+15.2%
一括ファクタリング	255	243	▲4.7%
その他の事業	0	0	—
計	1,221	1,224	+0.3%

■ 事業別成約高

(単位：億円)

	2022/3期 1Q	2023/3期 1Q	前年同期比
リース事業	502	617	+22.9%
賃貸事業	469	553	+18.0%
割賦販売	33	64	+92.9%
ファイナンス事業	717	771	+7.5%
営業貸付金	462	528	+14.2%
一括ファクタリング	255	243	▲4.7%
その他の事業	0	0	—
計	1,219	1,388	+13.9%

- ・リース事業の契約実行高は、前年同期に計上したGIGAスクール案件の影響から減少、成約高は官公庁を中心に伸長し前年同期比増加
- ・ファイナンス事業の契約実行高及び成約高は、営業貸付金の伸長により前年同期比増加

6) リース事業の営業状況

■ 業種別契約実行高

(単位：億円)

	2022/3期 1Q	2023/3期 1Q	前年同期比
官公庁	283	197	▲30.4%
民需	214	244	+14.0%
サービス業	69	74	+7.7%
流通業	56	49	▲13.0%
製造業	42	51	+20.5%
その他	47	70	+50.0%
計	497	441	▲11.3%

■ (参考) 機種別契約実行高

(単位：億円)

	2022/3期 1Q	2023/3期 1Q	前年同期比
情報通信機器	395	330	▲16.5%
電子計算機及び関連装置	248	134	▲46.1%
ソフトウェア	130	168	+29.1%
通信機器及び関連装置	17	28	+63.4%
事務用機器	35	36	+3.8%
その他機器	67	75	+11.8%
計	497	441	▲11.3%

■ 業種別成約高

(単位：億円)

	2022/3期 1Q	2023/3期 1Q	前年同期比
官公庁	303	424	+39.9%
民需	199	193	▲2.8%
サービス業	52	56	+7.0%
流通業	62	24	▲61.5%
製造業	46	47	+3.7%
その他	39	66	+69.7%
計	502	617	+22.9%

<<業種別契約実行高>>

- ・官公庁は、前年同期に計上したGIGAスクール案件の影響から減少
- ・民需は、その他および製造業の伸長により前年同期比増加

<<業種別成約高>>

- ・官公庁は、大型の自治体案件獲得により前年同期比増加
- ・民需は、その他は伸長したものの流通業の減少に伴い前年同期並み

7) ファイナンス事業の営業状況

■ 契約形態別契約実行高

(単位：億円)

	2022/3期 1Q	2023/3期 1Q	前年同期比
立替・APF・割賦バック	33	53	+60.7%
個別ファクタリング	242	178	▲26.5%
一括ファクタリング	255	243	▲4.7%
企業融資	160	283	+76.9%
その他	33	26	▲22.9%
計	724	783	+8.2%

■ 業種別契約実行高

(単位：億円)

	2022/3期 1Q	2023/3期 1Q	前年同期比
官公庁	4	13	+267.0%
民需	465	526	+13.2%
サービス業	33	38	+14.5%
流通業	53	52	▲1.8%
製造業	247	205	▲17.2%
金融業・保険業	55	68	+23.0%
不動産業	60	85	+41.8%
その他	17	79	+366.7%
一括ファクタリング	255	243	▲4.7%
計	724	783	+8.2%

<<契約形態別契約実行高>>

- ・ 個別ファクタリングが減少したものの企業融資が増加したこと等から前年同期比増加

<<業種別契約実行高>>

- ・ 民需における業種別では、個別ファクタリングが多い製造業が減少したものの、その他、不動産業等を中心に企業融資が増加し前年同期比増加

8) インベストメント事業の状況

■ 事業別損益

(単位：億円)

		2022/3期 1Q	2023/3期 1Q
アセットビジネス	売上高	32	37
	売上総利益	23	28
	営業利益	17	22
不動産	売上高	5	115
	売上総利益	1	18
	営業利益	0	17
アドバイザリー	売上高	1	1
	売上総利益	1	1
	営業利益	▲0	▲0
のれん他	売上高	0	0
	売上総利益	0	▲0
	営業利益	▲1	▲0
連結ベース 計	売上高	38	153
	売上総利益	25	47
	営業利益	17	39

販売用不動産の売却等に伴い、
売上高、利益ともに前年同期比増加

<<アセットビジネス>>

- ・ ファンドの配当収入等を計上したこと
に伴い前年同期比増収増益

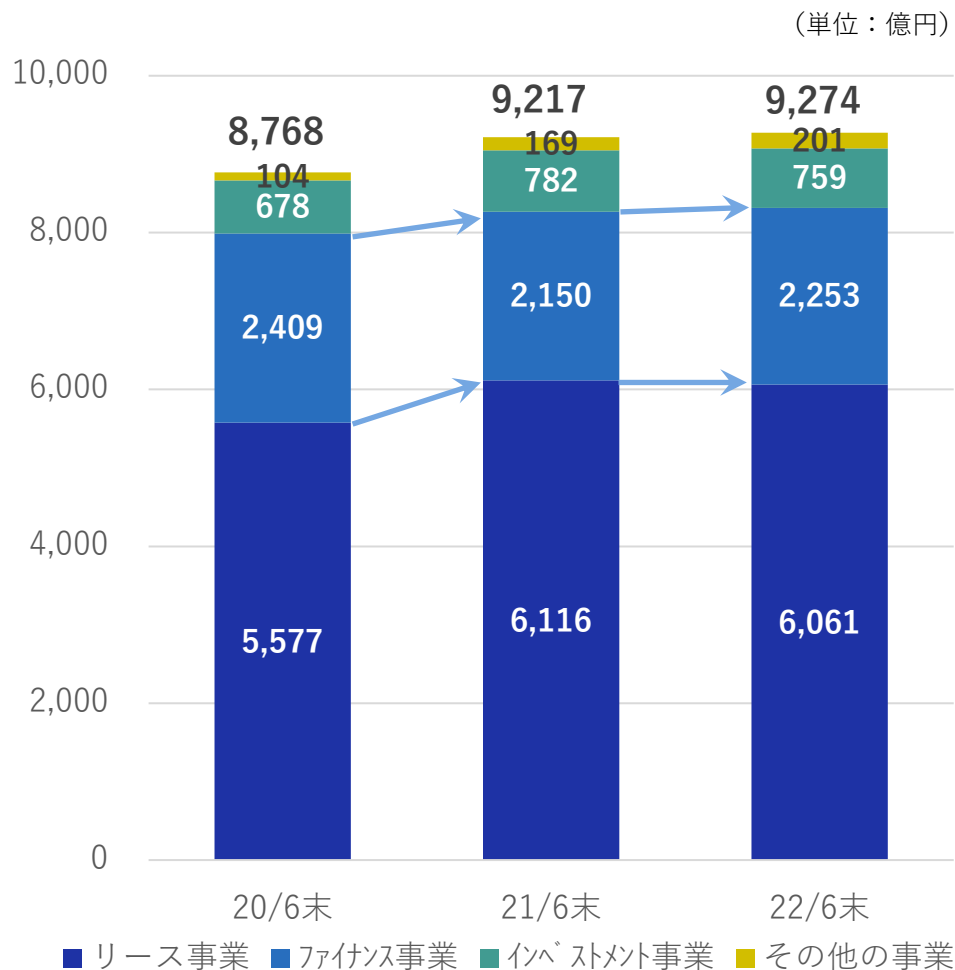
<<不動産>>

- ・ 大型売却があったことに伴い、
前年同期比大幅な増収増益

<<アドバイザリー>>

- ・ 前年同期並みの推移

9) 営業資産残高の状況



<<リース事業>>

- ・ GIGAスクール需要によって積み上がった前年同期並みを確保

<<ファイナンス事業>>

- ・ 主に企業融資が増加し前年同期比103億円の増加

<<インベスタメント事業>>

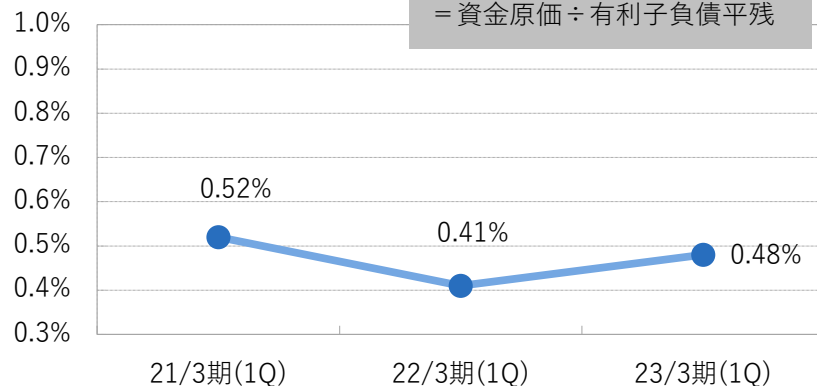
- ・ 販売用不動産の売却等により前年同期比23億円の減少

<<その他の事業>>

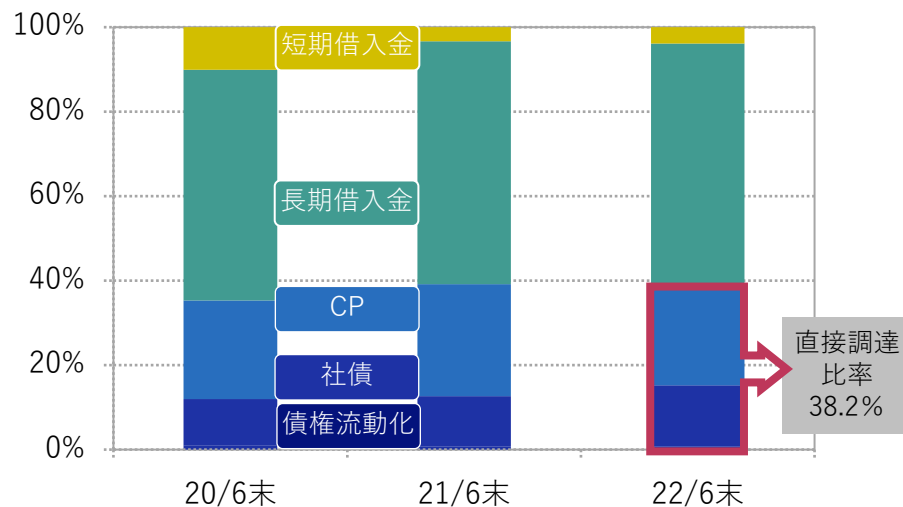
- ・ 新規事業の取り組み進展に伴い前年同期比32億円の増加

10) 資金調達状況

■ 資金原価率



■ 有利子負債構成比



■ 有利子負債残高

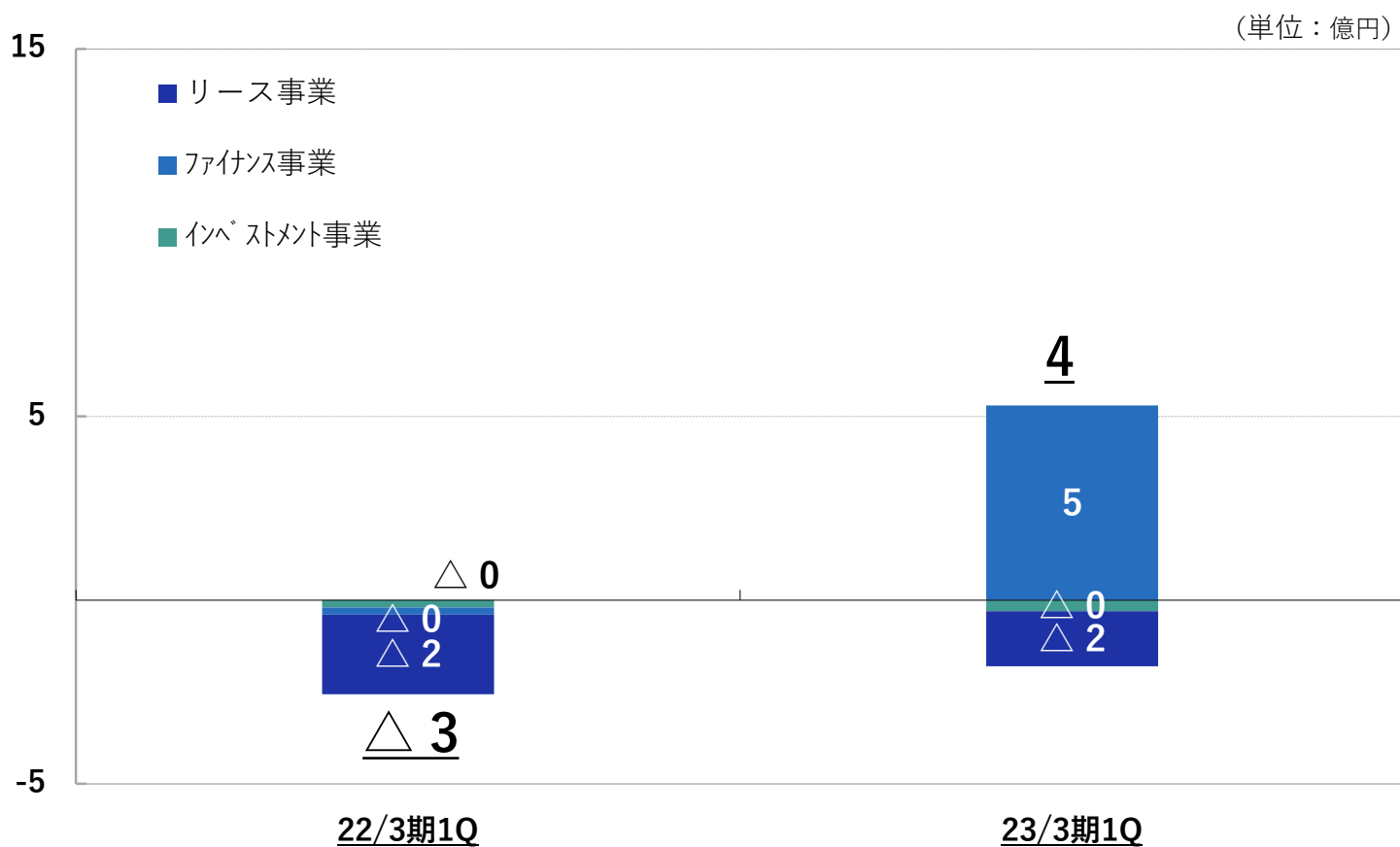
(単位：億円)

	2021/6末		2022/6末		
		構成比		構成比	増減
短期借入金	279	3.3%	321	3.9%	+42
長期借入金	4,811	57.5%	4,780	58.0%	▲32
CP	2,220	26.5%	1,890	22.9%	▲330
社債	1,000	11.9%	1,202	14.6%	+202
債権流動化	60	0.7%	56	0.7%	▲4
計	8,370	100.0%	8,248	100.0%	▲123

- ・ 資金原価率は、外貨の調達金利の上昇等に伴い前年同期比0.07ポイント増加の0.48%
- ・ 直接調達比率は、CPの減少等に伴い前年同期比減（2021/6末 39.2% → 2022/6末 38.2%）

11) 与信関連費用

- ・ファイナンス事業において与信コストを計上したこと等から6億円の増加



2. 2023年3月期 計画

1) 業績予想

- ・親会社株主に帰属する四半期純利益は、インベストメント事業の収益計上により通期業績予想の4割強の進捗
- ・1Q時点であることから、年間の利益計画に変更はなし

(単位：億円)

■ 業績予想

	2023/3期 1Q	2023/3期予想 年間
売上高	715	2,500
営業利益	51	110
経常利益	61	110
親会社株主に帰属する純利益	30	65
1株当たり純利益 (円)	138円18銭	301円91銭

■ 1株当たり配当金

	第2四半期末	期末	年間
2022/3期 実績	32円00銭	42円00銭	74円00銭
2023/3期 予想	37円00銭	37円00銭	74円00銭

本資料に記載されている株主・投資家向け情報は、投資勧誘・保証を目的として作成されたものではありません。実際に投資を行う際は、ご利用者ご自身のご判断において行われるようお願い致します。

本資料に記載されている当社の計画、戦略及び業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定な要因を含んでおります。

また、本資料に記載されている経営目標は予想ではなく、将来の業績に関する経営陣の現在の予想を反映したものでもありません。むしろ、経営陣が事業戦略の実行を通じて達成しようとする目標であります。

実際の業績等は、さまざまな要因により、見通し等と大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、当社の事業領域を取り巻く経済情勢及び規制や法令の変更、潜在的な法的責任、当社のサービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力などがありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷などにより、実際の業績等が経営目標その他の見通しと異なる結果となる可能性もあります。

当社による将来予測に関する記述は、その日現在のものであることをご承知おきください。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、リスクや不確定要因があるため、将来予測に関して記述されていることが実際には起こらない場合もありえます。これらの記述に全面的に依拠することは控えるようお願いいたします。



NECキャピタルソリューショングループビジョン

お客様と共に、社会価値向上を目指して、
グローバルに挑戦するサービス・カンパニー

\Orchestrating a brighter world

NEC